

市場公募債100億円発行

文責：嵯峨 十郎

就任から借金1300億円増

一〇〇億円の借金(県債)年間利息、一億三千五百万円は西川知事自らが毎年責任を持って負担してはいかか。県民に負担を強いるなら、一〇〇億円ぐらい節約することができはず。金利を払ってまで借りずに、補助金減額など大胆な削減もできよう。人口八〇万人の福井県が、他県がうらやむ原発からの多額の税金があるのに、なぜ、格付取得に喜んで市場公募債一〇〇億円を発行するのか。格付取得で喜んでる場合ではない。

高があり、その利子を金融機関等に毎年二〇〇億円支払っている。西川君、あなたは将来の福井県民を思うなら借金などこれ以上するな。毎日、五千万円近くの利子を払って銀行と富裕層に渡る。県民の貧富の差がつくばかりで、公共工事などの投資にまわっていない。人口が増えないのに借金をし、後世に莫大な利子払いをさせることは許すべきではない。西川県政七年になるが、その間に借金が一三〇〇億円増え、現在八五五七億円となっている。借金をして予算を組み、バラマキ政治は誰でも

09年県内原発総発電量800億kW超あり、全国の総発電量の約30%を占め、150億円以上の県内原発による交付金全国一位の我が県がなぜ、全国八番目に市場公募債を発行し、借金する？ 西川知事の経営手腕を問う。できる。平成二一年度の予算書によると県税収入九〇六億円に八八三億円の新たな借金をし、借金の利子一四八億円(税収の一六%)を支払っている現状を直視せよ。県は一〇〇億円の新たな公募債を発行するため、昨年一月、知事自ら借金の工面に東京で「県債が魅力ある投資先だ」と機関投資家向けの説明会を開催。東京都中央区日本橋にある国内格付会社、(株)格付投資情報センターによる信用度AAの格付に喜んでるのは馬鹿げた話だ。平成一九年神戸市、静岡県、岡山県、二〇年栃木県、徳島県、埼玉県、愛知県、

二一年奈良県、福井県と一市八県が格付を取得し、地方債を格付することで発行が円滑になり、投資家が安心して購入できる。

地方債格付

AA+	AA
静岡県 平成19年9月6日取得	神戸市 平成19年1月10日取得
栃木県 平成20年10月14日取得	岡山県 平成19年10月17日取得
埼玉県 平成20年12月11日取得	徳島県 平成20年10月20日取得
愛知県 平成20年12月19日取得	奈良県 平成21年10月22日取得
	福井県 平成21年10月26日取得

出所：(株)格付投資情報センター※AA格付の定義＝「信用は極めて高く、優れた要素がある」

21年度末県債残高 8,557億円

一般会計	起債発行額	元金支払	利子支払
平成15年	882億円	585億円	161億円
平成16年	801億円	692億円	153億円
平成17年	778億円	608億円	144億円
平成18年	739億円	566億円	142億円
平成19年	714億円	533億円	143億円
平成20年	761億円	532億円	143億円
平成21年	883億円	576億円	148億円

※数値は、四捨五入して記載。

債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての支出額の見込 および当該年度以降の支出予定額

当該年度提出分

単位:千円

事項	21年度以降の 支出予定額		年間支払額	備考
	期間	金額		
ふくい健康の森 管理運営事業費	年度 22～25	1,616,079	404,020	ふくい健康の森管理運営業務委託
児童科学館 管理運営事業費	22～25	1,312,808	328,202	児童科学館の管理運営業務委託
福井県産業振興施設 (サンドーム福井) 管理運営事業費	22～25	223,784	55,946	福井県産業振興施設(サンドーム福井)管理運営業務委託
越前陶芸公園 管理運営事業費	22～25	415,981	103,995	越前陶芸公園の管理運営業務委託
福井県国際交流会館 管理運営事業費	22～25	404,000	101,000	福井県国際交流会館の管理運営業務委託
県立音楽堂 管理運営事業費	22～25	1,289,590	322,398	県立音楽堂の管理運営業務委託

過年度議決にかかる分

国営土地改良事業費	21～34	10,382,771	5,191,386	国営土地改良事業の建設費等を負担する
ビジネス支援センター 運営事業費	21～22	181,574	90,787	ビジネス支援センターの運営業務委託
福井県中小企業産業大 学校管理運営事業費	21～22	100,409	50,205	福井県中小企業産業大学の管理運営業務委託
福井県産業情報センタ ー管理運営事業費	21～22	267,132	133,566	福井県産業情報センターの管理運営業務委託

平成21年度当初予算案一般会計歳出

単位：千円

企画総務費	地域振興基金積立金	500,000
	えちぜん鉄道基盤整備支援事業補助金	329,045
	えちぜん鉄道高架化支援事業補助金	113,748
	福武線設備更新特別支援事業補助金	212,000
	生活バス路線確保対策事業補助金	449,592
計画調査費	原子力発電施設等周辺地域給付金交付事業補助金	2,441,116
	地域活性化基金積立金	1,465,164
	原子力発電施設等周辺地域企業立地支援事業補助金	767,619
	電源地域振興補助金	1,426,212
	原子力発電施設等立地地域補助金	1,086,000
賦課徴収費	個人県民税徴収取扱費市町交付金	1,397,513
市町振興費	核燃料税市町交付金	2,102,776
	市町村振興宝くじ交付金	580,000
	石油貯蔵施設立地対策等交付金	154,143
	市町振興プロジェクト支援事業補助金	150,000
老人福祉費	軽費老人ホーム事務費補助金	657,860
	老人福祉施設整備費補助金	247,500
環境衛生指導費	産業廃棄物処理公社運営資金貸付金	429,869
労政総務費	ふるさと雇用再生特別基金事業補助金	500,000
	緊急雇用創出事業臨時特例基金事業補助金	500,000
農林水産費	農業経営対策事業補助金	328,553
	中山間地域等直接支払交付金	285,036
	園芸振興総合対策事業補助金	325,994
	農地・水・環境保全向上対策事業補助金	277,050
	日野川用水地区かんがい排水事業負担金	1,870,292
	九頭竜川下流地区かんがい排水事業負担金	2,640,630
	森林整備地域活動支援交付金	186,750
	森林整備地域活動支援基金積立金	125,466
	全国植樹祭実行委員会負担金	365,500
	分収林整備事業貸付金	1,064,378
商業振興費	小規模事業経営支援事業補助金	1,109,277
工鉱業総務費	企業立地促進資金貸付基金積立金	4,939,710
	企業立地促進資金貸付金	4,905,717
	企業立地促進補助金	2,010,000
	誘致企業支援補助金	245,992
	産業団地整備事業補助金	454,200
土木費	土地開発公社貸付金	4,077,877
	有料道路運営資金貸付金	2,190,000
	国直轄道路事業負担金	5,920,000
	国直轄砂防事業負担金	99,000
	国直轄海岸保全事業負担金	450,000
	港湾整備事業特別会計へ繰出	1,104,321
	国直轄港湾事業負担金	549,250
	下水道事業特別会計へ繰出	507,671
教育費	住宅供給公社事業資金無利子貸付金	1,573,267
	公立大学法人福井県立大学運営費交付金	2,566,886
県債利子	県債利子公債管理特別会計へ繰出	14,718,894
合計		70,401,868

1億円を超える事業の見直しとムダによる予算削減で起債減額措置を！

極楽三昧！止まぬ公金不正支出

公金意識の甘さが処分の甘さに

西川一誠知事は、前栗田知事に請われ、平成七年一〇月福井県副知事に就任した。

平成六年四月から九年一二月までの間に繰り返し行われていた福井県のカラ出張。公務遂行上の経費に充てたと認められるものが一四億七三四

九万五〇〇〇円、私的な飲食や流用先不明の不適切な支出が四億三〇一七万一〇〇〇円、総額約二一億六〇〇〇万円あった。

旅費額だけでみても、人口規模からすると全国でもトップクラスの不正な公金流用だ。平成一〇年、西川知事を含む管理職を中心に飲食などに

流用した「不適切な支出」の約四億六八〇〇万円が返還、五八八人が処分された。一方、全体の八割近い約一七億円は、公務遂行上の経費を理由に返還対象としなかった。

当時、調査の中心であった林田恒正総務部長は、平成一年に退任し、旧丸岡町長に就いた。内部調査にあたった岡崎長俊監査委員事務局長は、退職後旧三国町収入役、助役を歴任した。梅田幸重人事課

長は政策審議監、福祉環境部長と累進。現在の知事の側近で元住民サービス室長であり、現在重要ポストである総合政策部の森近悦治部長などは、

税金を食って極楽三昧。またか、公金の不正支出。4億8300万、14業者に裏金をプール。8310万円を返せば良いでは納得いかない。西川一誠知事 退陣せよ！ 副知事当時、3年間で21億円、全庁ぐるみの裏金工作。バカにするな！ 県税を払う県民の地獄の苦しみを解れ。

当時のカラ出張の裏金で、片町界限を大手を振って毎夜飲み歩いてきた姿を本誌編集者が目撃している。現在の旭伸昭副知事、東村新一福井市長、広部正紘教育長も同罪ではないか。

〇〇万円は、平成一五年四月から平成二一年八月までの間に架空発注で業者に現金をプールするなど悪質、私的流用なものは確認されなかったというが、公金を買ってみたいなのに、買ったようにみせかけて業者に現金をプール。後で不正な支出をするなどして、八月末現在で一四の業者に約三〇〇〇万円の現金を残していたなどあってはならず、公務員法に完全に違反している。私的流用はないと言うが、内部的調査では氷山の一角とみる。会食や宴会費用に充てていなかったか疑問は残る。

苦い教訓生かせず 不正の温床温存

昨年一二月、会計検査院からの不正支出指摘で県独自の調査を合わせた結果、約四億八三〇〇万円の不正経理が発覚した。今回の不正経理、四億八三

公費が貴重な税金と いう意識は薄く 皆で渡れば怖くない 処分など

「屁の河童」

福井県は、八三一〇万円を職員と退職者が分担し県に返還するらしいが、公金の流用は横領に匹敵する。この際、職員の削減のためにも責任を明確にし、退職願を受理した上で、停職六か月ぐらいの処分を担当した職員を懲戒処分して、一〇〇人ぐらいの退職者を出す強い姿勢がないと、「皆で渡れば怖くない」となり、役人による公金流用に歯止めが効かない。

県は取引業者との取引停止処分や職員に厳しい処分がでなかつたことは管理職、幹部職員、知事まで知っていたからとしか思えない。農水省の工事談合で福井県はかかっていた建設業者に一年間の指名

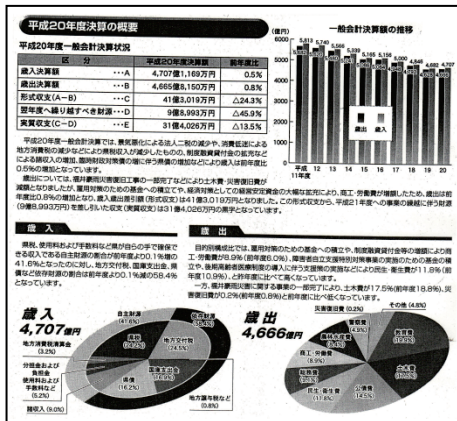
停止処分を行いながら、公金を預かってプールした業者をなぜ、取引停止処分にしなにか理不尽に他ならない。

西川知事は減給一〇分の三、三ヶ月を一二月議会に提出。旭信昭副知事、広部正統教育長、辻岡俊三監査委員は減給一〇分の一・三ヶ月。

平成九年にカラ出張問題が発覚した当時、栗田知事の側近である副知事として仕え、再び公金の不正流用問題が明らかになる中で、職員幹部のトップに立つ者として、自らの責任を明らかにする考えがあるのならば、二度にわたる不正の責任を取って知事自ら辞職すべきではないか。旭信昭副知事、辻岡俊三代表監査委員は、自ら辞職するべき。

厳しい世相とは裏腹に、西川一誠知事に支給される冬のボーナス三十一万円。旭信昭副知事二四四万円、広部正統教育長二二二万九〇〇〇円。斉藤新緑県会議長二二七万七

意味のない新聞広告



昨年12月15日付福井新聞広告
福井県財務企画課が福井新聞に
広告掲載する費用588,000円。
年2回で100万円以上の出費。
いかにも、健全財政を装っている
広告だが、その中身は…！

〇〇〇円、県議一八六万六〇〇〇円。県一般職平均七八万円。これは、『平成最大の下げ幅である』と、公務員も努力していると言わなければ、一〇〇億円の県債を発行してボーナスを支給するのか。

不況の中で職を失い、食べられないものがなくスーパードおにぎり二個を盗んだとか、無賃乗車や無銭飲食など一万円以下で捕され、マスコミには実名が報道され人選をダメにするほど徹底的に処分される。今回の不正経理による業者への現

金プールは公金流出そのもの、県警捜査も役人には甘いのか。カラ出張の教訓が全く生かされていなかった今回の不正経理問題に対し、県議会は全員協議会を開き、警察当局に調査をさせるなど、西川知事の責任を明確にし退陣を迫るほど厳しく追及すべきだった。

理事者と議会は車の両輪であって、一輪車であってはならない。県民の負託に応え、議員各位は談合してはならない。県警は昨年一月下旬にも調査結果を公表すると言っていたが、一体どうなったのか。